

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	咲心（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業員評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 医療ケア児が安心して利用できる医療体制がある 短期入所受け入れあり 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な視点（看護師・保育士・PT）で個別的支援計画に沿って支援を行っている 保護者の方や関係機関と連携して、看護師による医療ケアを提供することで安心した余暇時間を過ごせる 介護者の突然の体調不良時の受け入れも緊急枠として可能 	<ul style="list-style-type: none"> 重心・医療ケア児の特徴等、より専門的な知識習得のための研修を充実していく 有資格者の知識の向上

2	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事や保護者会、運動会やフェスタがあり、保護者同士や兄弟児の交流する機会がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく多くの参加が出来るように早めの保護者への告知、みんなの参加型で企画を工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会開催→2回/年 ・フェスタは地域の方も遊びに来れるように検討
3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の送迎時やLINEを通じて保護者と情報を共有しあい、成長を共に喜び、困りごとに関しては解決できるように共通理解を深めている。また関係機関とも情報を共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一した支援が出来るように同法人内や他事業所とも情報交換をおこなっている。職員間でも情報共有することで切れ目ない支援が出来るように務めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の様子を情報提供できるように定期的に会議を持つことで引き続き安心して頂けるようにする ・児童を中心に巻き取り関係機関と連携して情報交換し成長をサポート出来るようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画や防犯対策等の取り組み、保護者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なマニュアル見直しが必要 ・保護者へ通知が足りてない 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの充実・職員への研修実施 保護者に簡易的なマニュアル配布
2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の時間の確保が充分でない ・人材確保、利用者支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ増員し、外部研修へ積極的に参加し、スタッフ育成にさらに取り組む ・研修参加後の勉強会開催

3	・放課後等デイサービスや児童クラブ・保育園等地域の子供たちと交流する機会が少ない	・地域の公園や、長期の休みを利用して図書館や商業施設等に外出しているが外出先での活動が目的になり、交流する機会がもてない ・具体的な計画が立案されていない	・地域で開催されるイベントへの参加や近隣の保育園やデイサービス等訪問先を検討して、交流を具体的に計画していく
---	--	--	--